

平成 26 年度第 2 回白井市立図書館協議会（概要）

1. 開催日時 平成 27 年 3 月 13 日（金）15：00～17：30
2. 開催場所 白井市立図書館 2 階 研修室 2
3. 出席者 委員 吉井会長、中澤委員、田中委員、高花委員
欠席者 吉田副会長、宮田委員、進藤委員
事務局 黒澤図書館長、鎌田主査、内山主査、芳賀主査補
4. 傍聴者 1 名
5. 報 告
 - （1）平成 26 年度主要事業中間報告及び利用状況について
 - （2）平成 26 年度図書館資料購入状況について
 - （3）平成 27 年度主要事業計画（案）について
 - （4）平成 27 年度図書館費（案）について
 - （5）平成 27 年度図書館資料購入計画（案）について
 - （6）図書館電算システムの更新について
 - （7）開館 20 周年記念事業の実施結果について
6. その他
7. 配布資料
 1. 会議次第
 2. 図書館だより 2. 3 月号
 3. 図書館開館 20 周年記念事業報告
 4. ヤングアダルトブックガイド 2014
 5. 平成 27 年度図書館カレンダー
 6. 新ホームページ（案）
8. 議 事 以下のとおり

事務局	平成 26 年度第 2 回図書館協議会を開催する。
会 長	こんにちは。7 月にお会いしてから半年が過ぎた。年に 2 回の会議なので、皆さんで情報を共有し、活発なご意見をお願いしたい。次第にあるように、平成 26 年度事業の結果報告と平成 27 年度の事業計画の説明が事務局からあると思いますので、よろしくをお願いします。
事務局	(1) 平成 26 年度主要事業中間報告及び利用状況について 西白井大規模改修に伴う休室など (2) 平成 26 年度図書館資料購入状況について を資料に基づき報告
委 員	学校図書室の貸出冊数は去年に比べて大きな伸びはないが、先生方の指定した本を貸出しており、貸出内容の質が上がったと考えている。何でもいいから読むのではなく、学校図書室に人がついたことで、内容に深く焦点をあてた資料を読んでいる。
会 長	授業に関連した資料を読んでいるとのことだが、一人 1 冊では資料が足りないのではないか。
委 員	年間の指導計画を学校間で調整し、重なることがないように図書館に貸出をお願いしている。読書推進補助教員も 2 年目に入り軌道にのってきた。
事務局	図書館司書と学校担当者が話し合い「この資料が使えたよ」などフィードバックしていただくことで、さらに質の良いものが提供できる。
会 長	そういう仕事を指標であらわせるとよいのだが。
事務局	学校に人をつけていただくことで良い選書等が出来る。
委 員	どのように読書が学びに結びついたか、というまとめを作っている。
委 員	まとめた冊子はどこでもらえるか。
会 長	合理化という話がでていますが、そのような資料があると説得材料になるのではないか。
委 員	中学校でも図書館の資料を活用しているのか。
事務局	中学校に図書室があり、不足している図書のみを図書館から送っている。中学校

	<p>の場合は、図書室ではなく教室で利用しているようだ。</p>
委 員	<p>中学校で補助教員をしている。そこで知ったことは、生活困窮者の家庭では、親が家庭のなかで本を手にする機会が少ない。旅行をするなど普段の生活以外での体験が乏しいようだ。貧困なのは子供のせいではない。本に触れてもらう機会を与えてほしい。私は美術が専門だが、イマジネーションはいろいろな体験をすることで広がるのではないかと考えている。無料が原則である図書館の存在を知って欲しい。</p>
会 長	<p>図書館は知の宝庫。ここで情操をはぐくんで欲しい。</p>
事務局	<p>(3)平成 27 年度主要事業計画（案）について (4)平成 27 年度図書館費（案）について (5)平成 27 年度図書館資料購入計画（案）について (6)図書館電算システムの更新について (7)開館 20 周年記念事業の実施結果について を資料に基づき報告</p>
会 長	<p>寄贈図書の運搬費用を計上しているが。寄贈される先は？</p>
事務局	<p>除籍された資料のうち当館リサイクルコーナーで提供するほかに、NPOを通じて日本語や日本のことを学ぶアジアの大学生に活用してもらうため、図書を提供する。</p>
事務局	<p>現在の蔵書は 55 万冊となっている。収容能力があることから、計画的な除籍を行っていくとともに、これからも年間約 9 万冊出版される資料のうち 1 万 5 千冊は購入し、新鮮で豊富な資料の提供を行っていきたい。</p>
会 長	<p>絵本などの児童書もアジアで活用されるとよいのではないかと？</p>
事務局	<p>絵本などの児童書は学校の貸出用として活用しており、他へまわす余裕がない。</p>
委 員	<p>本をリクエストして相互協力で本をお借りすることができた。</p>
会 長	<p>相互協力の費用はかからないのか？</p>
事務局	<p>利用者の求めに応じて国会や他県、千葉県内市町村から資料を取り寄せることができる。千葉県内の相互協力は、検索システムの構築も物流も県が担っているため費用がかからない。国立国会図書館の場合は送料の半額を当館が負担し、また他県の資料の場合は送料の全額を利用者に負担していただく。</p>

委 員	子どもたちが大学生となり、ゼミの資料等で予約を入れたりして、図書館を有効利用させていただいている。
事務局	図書館間で行っている相互貸借の協力サービスについてPR不足を感じている。今回のシステム更新で、ホームページをリニューアルする。市の図書館の蔵書検索のほか、県内図書館の横断検索や国立国会図書館の検索をトップページに出し、利用者が検索しやすくすることで相互貸借にも繋がりたいと考えている。
会 長	(6) 図書館電算システムの更新について バナー広告にはどのような企業が入るのか。図書館の趣旨に賛同していただければバナー広告は導入してもよいのではないか。また、企業としても社会貢献になるのでメリットがあると考える。
事務局	今回の電算更新では、ホームページに予算が400万円ほどついて大幅にリニューアルを計画している。メールレファレンスの受付や郷土資料館、文化課との連携、マイページなどを使い予約方法の変更など使い勝手がよくなるよう取り組んでいる。バナー広告についても検討する。
会 長	(7) 開館20周年記念事業の実施結果について 20年間のベストリーダは、東野圭吾作品と予想していたが、乙武洋匡の『五体不満足』が1位となっている。
委 員	『五体不満足』は小学校で指定図書になっており、自分が読んで良かった本を友達に紹介するなど、横のつながりで読者が広がるようだ。
委 員	『五体不満足』はとても前向きで良い本だからなのではないか。
会 長	20周年記念で、文化センター内で何か連携して事業を行ったのか。
事務局	バックヤードツアーとして文化会館の楽屋・郷土資料館の収蔵庫・プラネタリウム館の投映装置と図書館の書庫見学を連携して行った。
委 員	子どもに本を求める心をどうやって育てていくかは今後の課題である。教科書の内容は減っているが読ませる本は多く指定されている。小学生はよく本を読むが、中学、高校になると読書量が減っていき、読む子と読まない子の二極化が進んでいる。先生方が本に手を伸ばす人かどうかで、子どもに影響する。 例えば高校入試では国語の長文が出題されるので、読書習慣がない生徒にも本を読ませないと、問題が解けないことになる。先生方とメッセージを発信して生徒に読ませていかないといけない。そのために教師も読書推進補助教員も学び続けないといけない。私も踏ん張らないといけないと思っている。

	4.5年生の教科書に新聞がある。新聞から必要な情報を得ているが、近年予算は削減されている。
会 長	大学生の教育実習などに図書館事業を組み込むとよいのではないか。中・高生の職業体験にもきていただく。
委 員	他市の新規採用の先生は、図書館の資料を使った授業を必ず行わなくてはいけない。教育委員会はしっかりとした展望と強制力をもってやらないと流れてしまう。
委 員	美術の授業について、授業の中で「こういうのを描いて」といきなり言っても描けない。授業時間が決まっていて難しいが、図書室に行って調べよう、図書館に行けば何かあるなど担当教員の一言で授業が発展していく。
会 長	最近、通勤電車でも本を読んでいる人が少ない。白井市民のよりどころになるような魅力のある図書館運営を目指して欲しい。また、図書館運営に関して、経費削減の面のみからとりあげようとする向きがあるが、賛成できない。
委 員	子どもにかかる教育費が少ないように感じられる。
事務局	議会の文教民生常任委員会で佐賀県の武雄市立図書館と伊万里市民図書館の視察に同行させていただいたので報告する。指定管理者のツタヤ書店が管理運営していることから話題になった武雄市立図書館は、コーヒー店・書店・文具店と図書館が一緒になっており、おしゃれで居心地が良かった。 一方、伊万里市民図書館はまちづくりの中で図書館が大きな役割を果たしていることから図書館界でも常に評価が高いため、一度は見学したいと思っていた図書館で、400人以上の市民ボランティアが図書館の活動を支えていて活気ある状況を目にすることができた。運営形態がまったく違うけれども、どちらも素晴らしい図書館が隣接しており、全国的にも注目をあびるなど九州地方の文化や教養の高さを感じることができた。当図書館でも、市民のための図書館を目指し努力していきたい。
会 長	図書館に指定管理者を導入した場合のメリットはなにか。
事務局	指定管理者を導入してもサービスの質を維持する場合は、委託費は決して安くない。運営費を安くするには人件費を下げるため、ワーキングプアを生みだしている。サービスの向上は安くはならない。図書館は社会教育機関、白井では直営でやっていきたい。
会 長	図書館経費の削減そのものを目的化するような意見があるが、それは白井市の知的インフラの脆弱化を引き起こすおそれがあることに思いをいたすべきだ。

委 員	<p>ホームページで情報をしっかり発信していただきたい。</p> <p>指定管理者の桜台センターでは、アクリル板などで手作りされた枠に紙芝居をはさみ、表紙が見えるように展示してあった。雑誌の入荷状況の掲示もわかりやすく工夫されている。目でみせる展示が良かった。図書館では紙芝居の外装などしか見ることができず、持っている資料を魅力的に展示していないのはもったいないと思った。</p>
事務局	<p>当市の各センターは指定管理者だが、図書室の職員の方々の評判は良く安心して任せている。</p>
委 員	<p>白井に住んで5年、娘は3年生、読み聞かせをしていた娘が妹に読んであげているのを見ているのがとても幸せで、図書館を利用させていただいている。</p>
会 長	<p>我々は図書館の応援団になっていきたい。知的冒険を図書館によってもっと広めて欲しい。</p>
委 員	<p>米国は子どもを財産だとして、国全体でやっているが、日本は子どもにお金をかけない国だと思う。そこで出生率も減ってしまっている。</p>
会 長	<p>バランスのよい行政の実現には市民との協働が重要。ともに地域の価値を高めていきたい。</p> <p>2年間で最後の会議となった。事務局に助けられながら楽しく運営することが出来た。白井市民となってよかったとつくづく思える。</p>
事務局	<p>任期中の最後の会議となる。委員の皆さまには貴重なご意見をいただき感謝する。これからも応援していただきたい。</p>